

景気動向調査

(飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)

令和1年7～12月期

調査概要

調査時期	令和2年1月17日～同31日
調査対象時期	(当期) : 令和1年7月～12月 (次期) : 令和2年1月～6月
調査対象企業	一般商工業者97社 (飲食業、サービス業、卸・小売業、建設業)
有効回答率	76.2%
調査方法	郵送によるアンケート方式
調査内容	①業界景気など、自社景況の実績と次期予測 ②経営上の課題 ③自由記述 (業界内での話題や困りごと等)

1. 【設問1】集計結果

—B.S.I 値で見る業種別景気動向—

※B.S.I 値 とは

- 「 Business Survey Index (ビジネス・サーベイ・インデックス) 」の略で、景況判断指数のひとつ
- 下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

※ (「上昇：好調の要素」 - 「下降：不調の要素」) ÷ 2

最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
2	貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い		
3	貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
4	貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		
5	貴社 製(商)品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多		
6	貴社 資金繰りについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難		
7	貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少		

(1) 国内景気について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和1年7月～12月）	-29.6	-34.6	-30.0	-37.0	-16.7
※前回予測値と当期実績値の比較	-1.8	-13.2	-7.3	-5.8	19.0
次期予測（令和2年1月～6月）	-31.9	-34.6	-23.3	-43.5	-26.2
※当期実績値と次期予測値の比較	-2.3	0.0	6.7	-6.5	-9.5

（当期実績）

平均値：BSI値-29.6ポイントを記録。前回予測比-1.8ポイントとなった。

業種別：建設業における前回予測との差が19.0ポイントを記録し、予測されたような落ち込みはなかった。

（次期予測）

平均値：当期BSI値との差が-2.3ポイントと、若干ながら悪化の予測となった。

業種別：サービス業が-23.3ポイントを記録。当期比で6.7ポイントと、唯一好転の予測となった。

(2) 業界景気について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和1年7月～12月）	-28.9	-42.3	-26.7	-34.8	-11.9
※前回予測値と当期実績値の比較	9.1	-6.6	9.66	5.8	27.4
次期予測（令和2年1月～6月）	-31.2	-42.3	-20.0	-43.5	-19.1
※当期実績値と次期予測値の比較	-2.3	0.0	6.7	-8.70	-7.2

（当期実績）

平均値：BSI値-28.9ポイントを記録。前回予測比9.1ポイントと、予測ほどの落ち込みはなかった。
業種別：飲食業および卸・小売業のBSI値が大きく落ち込んでいる。

（次期予測）

平均値：当期BSI値との差が-2.3ポイントと、若干ながら悪化の予測となった。
業種別：飲食業および卸・小売業は、厳しい状況が続く見込み。

(3) 売上について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和1年7月～12月）	-13.1	-19.2	-10.0	-8.7	-14.3
※前回予測値と当期実績値の比較	11.3	9.4	12.7	16.3	7.1
次期予測（令和2年1月～6月）	-22.3	-38.5	-13.3	-30.4	-7.1
※当期実績値と次期予測値の比較	-9.2	-19.3	-3.3	-21.7	7.2

（当期実績）

平均値：BSI値-13.1ポイントを記録。前回予測比11.3ポイントと、予測ほどの落ち込みはなかった。
業種別：前回予測との差がすべての業種でプラスになった。

（次期予測）

平均値：当期BSI値との差が-9.2ポイントと、悪化の予測となった。
業種別：飲食業および卸・小売業は、厳しい状況が続く見込み。一方、建設業では好転見込みとなった。

(4) 営業利益について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和1年7月～12月）	-16.8	-26.9	-3.3	-13.0	-23.8
※前回予測値と当期実績値の比較	8.1	-5.5	28.5	12.0	-2.4
次期予測（令和2年1月～6月）	-21.8	-34.6	-10.0	-28.3	-14.3
※当期実績値と次期予測値の比較	-5.0	-7.7	-6.7	-15.3	9.5

（当期実績）

平均値：BSI値-16.8ポイントを記録。前回予測比8.1ポイントと、予測ほどの落ち込みはなかった。

業種別：サービス業の前回予測との差が28.5ポイントと、予測されたような悪化はなかった。

（次期予測）

平均値：当期BSI値との差が-5.0ポイントと、悪化の予測となった。

業種別：建設業では好転見込みだが、飲食業を筆頭に他業種では悪化の予測となった。

(5) 製(商)品在庫について

(プラス：在庫過多 マイナス：在庫過少)

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績(令和1年7月~12月)	1.3	-3.9	3.9	-2.2	7.5
※前回予測値と当期実績値の比較	-1.4	3.3	-0.7	-8.4	0.4
次期予測(令和2年1月~6月)	3.4	-3.9	7.7	2.2	7.5
※当期実績値と次期予測値の比較	2.0	0.0	3.8	4.3	0.0

(当期実績)

平均値：BSⅠ値1.3ポイントを記録。前回予測比-1.4ポイントと、若干数値を下げている。

業種別：卸・小売業が数値を下げているが、他業種では大きな変動見込みはない見通し。

(次期予測)

平均値：当期BSⅠ値との差が2.0ポイントを記録。

業種別：いずれの業界も大きな変化はない見通し。

(6) 資金繰りについて

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績（令和1年7月～12月）	-9.9	-30.8	0.0	-8.7	0.0
※前回予測値と当期実績値の比較	-2.8	-23.6	0.0	-5.6	17.9
次期予測（令和2年1月～6月）	-10.5	-26.9	-6.7	-10.9	2.4
※当期実績値と次期予測値の比較	-0.7	3.9	-6.7	-2.2	2.4

（当期実績）

平均値：BSⅠ値-9.9ポイントを記録。前回予測比-2.8ポイントと、若干数値を下げている。
業種別：飲食業が数値を下げている一方、建設業では改善結果に（前回予測比より）。

（次期予測）

平均値：当期BSⅠ値との差が-0.7ポイントと、悪化の予測となった。
業種別：いずれの業種も増減幅に特徴はなく、大きな変化はない見込みとなった。

(7) 設備投資について

対象期間	平均値	飲食	サービス	卸・小売	建設
当期実績 (令和1年7月~12月)	0.7	-4.2	-6.7	6.5	7.1
※前回予測値と当期実績値の比較	10.6	3.0	16.1	12.8	10.7
次期予測 (令和2年1月~6月)	-2.4	-8.3	3.3	0.0	-4.8
※当期実績値と次期予測値の比較	-3.1	-4.2	10.0	-6.5	-11.9

(当期実績)

平均値：BSI値0.7ポイントを記録。前回予測比10.6ポイントと、予測された落ち込みはなかった。

業種別：いずれの業種も前回予測比で増加しており、改善傾向にある予測となった。

(次期予測)

平均値：当期BSI値との差が-3.1ポイントと、悪化の予測となった。

業種別：サービス業は数値の改善傾向にあるが、その他業種ではやや落ち込む予測となった。

2. 【設問2】集計結果

—業種別、経営上の問題点—

質問事項

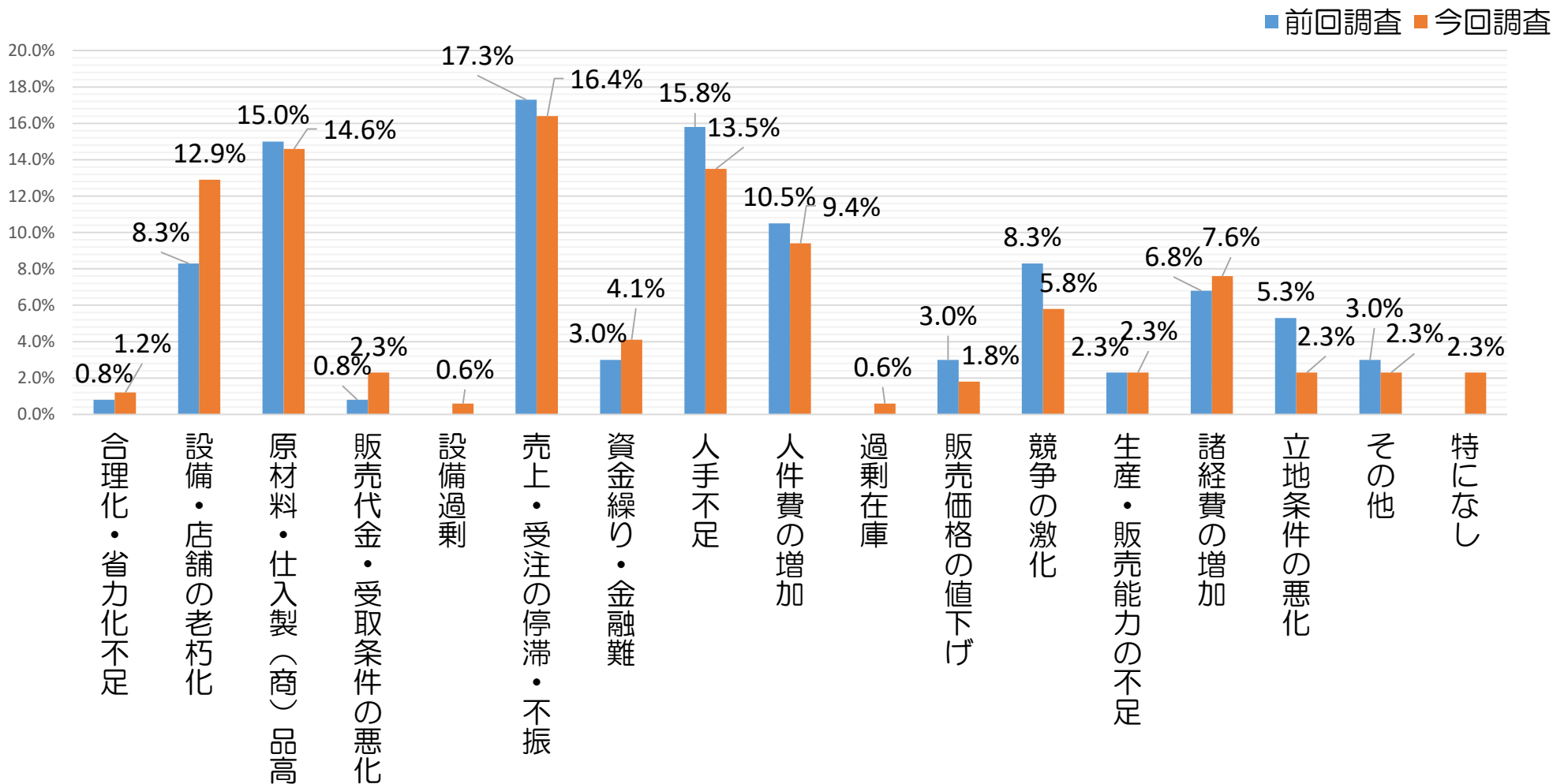
経営上の問題点について、該当するものを3つまで選び、ご記入ください。

- | | | |
|---------------------------------|------------------|-----------------|
| 1. 合理化・省力化不足 | 2. 設備・店舗等の老朽化・狭小 | 3. 原材料・仕入製（商）品高 |
| 4. 販売代金・受取条件の悪化 | 5. 設備過剰 | 6. 売上・受注の停滞・不振 |
| 7. 資金繰り・金融難 | 8. 人手不足 | 9. 人件費の増加 |
| 10. 過剰在庫 | 11. 販売価格の値下げ | 12. 競争の激化 |
| 13. 生産・販売能力の不足 | 14. 諸経費の増加 | 15. 立地条件の悪化 |
| 16. その他（ ） | | 17. 特になし |

回 答 欄		

(1) 全体結果

【令和1年7～12月期 設問2：経営上の課題】



(2) 業界別結果

	今期および前期上位3項目									今期上位3項目			前期上位3項目				
	合理化・省力化不足	設備・店舗の老朽化	原材料・仕入製(商)品高	販売代金・受取条件の悪化	設備過剰	売上・受注の停滞・不振	資金繰り・金融難	人手不足	人件費の増加	過剰在庫	販売価格の値下げ	競争の激化	生産・販売能力の不足	諸経費の増加	立地条件の悪化	その他	特になし
飲食業	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%	3.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%
※前期比	0.0%	14.3%	-4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	-1.2%	-9.5%	-4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	-4.8%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%
サービス業	0.0%	16.7%	8.3%	2.8%	2.8%	16.7%	5.6%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	11.1%	2.8%	13.9%	0.0%	0.0%	2.8%
※前期比	0.0%	0.7%	4.3%	2.8%	2.8%	4.7%	1.6%	-7.7%	-15.7%	0.0%	-4.0%	3.1%	2.8%	5.9%	0.0%	-4.0%	2.8%
卸・小売業	1.8%	12.7%	18.2%	1.8%	0.0%	21.8%	1.8%	5.5%	3.6%	1.8%	5.5%	3.6%	1.8%	5.5%	7.3%	5.5%	1.8%
※前期比	1.8%	-0.6%	0.4%	1.8%	0.0%	-0.4%	-0.4%	3.3%	3.6%	1.8%	3.3%	1.4%	-0.4%	-7.8%	-8.3%	-1.2%	1.8%
建設業	1.9%	9.6%	7.7%	3.8%	0.0%	11.5%	5.8%	25.0%	13.5%	0.0%	0.0%	7.7%	3.8%	5.8%	0.0%	1.9%	1.9%
※前期比	-0.5%	7.2%	-1.8%	1.4%	0.0%	-5.2%	3.4%	-1.2%	4.0%	0.0%	-4.8%	-11.3%	1.4%	3.4%	0.0%	1.9%	1.9%

※前期比欄赤字表記：前期調査比で増減幅が10%以上

(3) 特記事項①（飲食業、サービス業）

<飲食業>

- 前回上位3項目（「原材料・仕入製（商）品高」「人手不足」「人件費の増加」）は、今期も課題にあげる事業者が多い
- 全17ある回答項目うち、その回答にばらつきが無く、課題が浮彫になっている点に特徴がある

<サービス業>

- 「人件費の増加」を課題にあげる事業所が、前回調査時より15.7%減少している
- 一方で、今回調査では「売上・受注の停滞・不振」「諸経費の増加」が上位に入っており、前期比を見ても数値の上昇がわかる

(3) 特記事項②（卸・小売業、建設業）

<卸・小売業>

- 前回上位項目のうち「原材料・仕入製（商）品高（前期比0.4%）」「売上・受注の停滞・不振（前期比-0.4%）」が今期も大きな課題になっている
- 一方で「諸経費の増加」「立地条件の悪化」の回答率は減少

<建設業>

- 「競争の激化」を課題にあげる事業所が、前回調査時より11.3%減少している
- 一方で、「売上・受注の停滞・不振」「人手不足」が依然として上位に入っており「人件費の増加」を回答する事業所も増えている

3. 【設問3】 寄せられた声

—自由記述—

自由記述（業界内での話題や困りごとなどなんでも）

<飲食業>

- キャッシュレス決済への対応に悩む
（対象店舗にするか否か）
- 人件費の高騰。資金繰りの悪化。近隣飲食店街の衰退

<卸・小売業>

- インボイス制度に疑問を持つ。制度の周知徹底も不十分で、理解に及んでいない同業者も多い
- 暖冬により防寒品の売上げが減少
- 同業者の廃業が相次いでおり、組合の維持が困難
- 後継者が不在
- 組合員の減少による経費負担増加（組合員の負担分が増加）。商材確保が難しい

<サービス業>

- 顧客の確保
- 補助金、助成金を知りたい
- テナント料の値上げ交渉に苦慮

<建設業>

- 人口減少、少子化による売上げ減少
- 若手人材が不足
- 人手不足が年々深刻化。職員の平均年齢が高くなっている
- 首都圏等から大手企業の進出が相次いでおり、業界、同業者に影響を及ぼしている
- 業界景気低迷
- 受注物件の減少